

南三陸町総合戦略（案）の全体像

基本事項1：策定の趣旨・目的

◎人口減少は、地方の存続に関わる大きな問題であり、東日本大震災により甚大な被害を受けた本町においては、とりわけ深刻な人口予測となっている。

【南三陸町総合戦略とは】

- ◎本町の人口ビジョンを踏まえた「まち・ひと・しごと創生」の実現に向けて、目標や施策等をまとめたもの
- ◎まち・ひと・しごと創生の理念を踏まえつつ、少子高齢化・人口減少を克服し、活力ある持続可能な地域の実現に寄与する

人口の将来展望（人口目標） 2060年（H72）：7,200人

【平成31年度に達成すべき目標】

- 合計特殊出生率 1.40以上
- 転入者 - 転出者（転出超過者数）260人未満

基本事項2：計画期間

平成27（2015）年度～平成31（2019）年度 <5ヶ年計画>

基本事項3：まちの将来像と戦略の位置づけ

◎本町では、まちづくりの最上位計画として「南三陸町第2次総合計画」（平成28年度～平成37年度）を策定しており、まちの将来像を次のとおり定めている。（予定）

【将来像】 **森里海ひといのちめぐるまち 南三陸**

【総合戦略の位置づけ】

南三陸町総合計画を上位計画として、特に人口減少に対応した取り組みに的を絞ったものと位置づけられ、これを確実に推進することで、将来像の実現の一翼を担う

南三陸町総合計画

南三陸町第2次総合計画
と総合戦略の関係
<概念図>

南三陸町総合戦略

■総合戦略の体系■

まちの
将来像

森里海ひといのちめぐるまち 南三陸

私たちは 東日本大震災を経て 気づかされました。
森里海ひといのちがめぐって 生かされていることを。
だから 私たちは いのちめぐるまちをつくるため ここに宣言します。

【基本目標1】
私たちは ^{ちから}地域の仕事を
輝かせます

【基本的方向】

- ・地域のしごとをより魅力あるものとし、働きたい職場をつくる。
- ・地域のしごとと、しごとを求めるひととをつなぐ。
- ・地域の資源を生かし、新たなしごとを開拓する。

成果指標	目標値
町内新規採用者数	200人/年 (5年間の累計)
創業件数	20件 (5年間の累計)

【具体的施策】

- ①まちのしごとを輝かせる
就業支援、町内産業の見える化、雇用奨励等
- ②観光・交流を促進する
観光・体験・交流促進、訪日外国人誘致等
- ③新たなしごとをつくる
南三陸町創業支援等
- ④まちのしごとを発信・共有する
【基本目標1】に掲げる施策を効果的に展開するための情報発信・共有の仕組み構築等

【基本目標2】
私たちは ^{まち}ともに未来を拓く
ひとびとが 集う 家をつくります

【基本的方向】

- ・既存資源を有効に活用し、地域課題に立ち向かう人材を地域に呼び込み、定着を促す。
- ・地域の良さを生かし、伝える人材を地域に呼び込み、定着を促す。
- ・地域に関わる人材の交流を活発化し、移住・定住にとらわれない「南三陸コミュニティ」を拡大する。
- ・2030年（平成42年）には、年間の転入・転出者数を均衡させる

成果指標	目標値
年間転出超過者数	260人未満（2019年） ※2014年：426人

【具体的施策】

- ①移住・定住を促進する
移住総合窓口の設置、住宅確保の推進等
- ②関係人口を増やす
地域おこし協力隊受入れ、感謝・絆プロジェクト、地域交流拠点の形成等
- ③集うまちを発信・共有する
【基本目標2】に掲げる施策を効果的に展開するための情報発信・共有の仕組み構築等

【共通する取り組み】
官民連携で南三陸らしさを実現する

【基本的方向】

- ①民間活動をサポートする
おらほのまちづくり補助金の拡充等
- ②南三陸ブランドを輝かせる
南三陸ブランドの育成と管理、地域資源研究等
- ③情報を発信共有する
まちの魅力を効果的に発信・共有するための仕組み構築等

成果指標	目標値
協働による活動創出数	5件/年以上

【具体的施策】

- ①子育てしやすいまちづくり
うみ育てる総合窓口の設置、子育てクーポン券の配布、子ども・子育て支援の充実等
- ②「学びたい」を実現する
地域を学ぶ・地域で学ぶ人材育成、修学資金貸付等
- ③まちの子育て・教育環境を発信・共有する
【基本目標3】に掲げる施策を効果的に展開するための情報発信・共有の仕組み構築等

【基本目標3】
私たちは ^{いのち}豊かな自然の中で
ともに支えあい 世代をつなぎます

【基本的方向】

- ・妊娠から子育てまで一貫して相談できる体制を整える。
- ・子育てサークルや民間の託児サービスなど、地域全体の見守りのなかで安心して子育てができる環境づくりを後押しする。
- ・地域子どもたちが、地域資源やそれに携わる大人たちの背中を見て学べる地域をつくる。
- ・子どもたちの学びたいを地域で支える。
- ・2040年（平成52年）には、合計特殊出生率を2.07まで上昇させる

成果指標	目標値
合計特殊出生率	1.40以上（2019年） ※2012年～14年平均：1.15